

平成30年11月15日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

日時	平成30年11月15日(木) 午後3時00分
場所	教育委員会室
開会	午後3時00分
閉会	午後4時02分
出席委員	
教 育 長	加 藤 裕 之
委 員	阿 部 博 道
委 員	坂 根 慶 子
委 員	淺 松 三 平
委 員	白 石 祐 一
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	後 藤 隆 宏
教育委員会事務局参事 (庶務課長事務取扱)	宮 本 知 幸
学 務 課 長	西 村 克 己
すみだ教育研究所長	石 原 恵 美
ひきふね図書館長	高 村 弘 晃

2 議題について

(1) 議決事項

第1 議案第39号 平成30年度墨田区一般会計補正予算(第3号)案に関する意見の聴取について

(2) 報告事項

第1 教育課題の進捗状況について(資料1)

第2 平成30年度定期監査(第1回)の監査結果について(資料2)

- 第3 表彰状の交付について（資料3）
- 第4 平成31年度区立幼稚園入園の応募状況について（資料4）
- 第5 平成31年度区立小・中学校希望選択の申込状況について（資料5）
- 第6 第8回「墨田区図書館を使った調べる学習コンクール」の結果等について（資料6）

3 会議の概要について

教育長 それでは、本日の教育委員会を開会します。本日の会議録署名人は、阿部委員にお願いします。本日は、指導室長と地域教育支援課長は欠席になりますので、よろしくをお願いします。では、本日の日程についてご報告します。告示日において、議決事項はなしとしていましたが、急施を要する事案が発生しましたので、墨田区教育委員会会議規則第2条の規定により、議案第39号を日程に追加して審議することとします。なお、議案第39号については、行政運営上の審議情報に関わる案件であることから、秘密会として取り扱いたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

教育長 それでは、議案第39号の審議については、秘密会としてとり行うこととします。なお、会議の進行については、報告事項が終了した後、秘密会に入ることとします。

報告事項第1・・・資料P1～4

「教育課題の進捗状況について」、庶務課長、指導室統括指導主事、すみだ教育研究所長が資料のとおり説明する。

庶務課長 （学校校舎等の改築・改修事業について説明）

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑はありますか。

（質疑なし）

指導室統括指導主事 （新学習指導要領への対応について説明）

教育長 ただいまの説明について、ご質疑はありますか。

（質疑なし）

すみだ教育研究所長 （学力向上新3か年計画の実施について及び幼保小中一貫教育推進計画の推進について説明）

教育長 まずは学力向上新3か年計画の実施について、何かご質疑はありますか。

坂根委員 発行された社会科ニュースを見ましたが、大変役に立つのではないかと思います。どのような効果があったとか、このように使ってよかったというような反響はありましたか。

すみだ教育研究所長 何かアンケートを取っている段階ではありませんが、先日教員の集まりがあり、その時に内容がすばらしく役に立っていますという声がありました。一人でも多くの教員に読まれるよう、さらに周知をお願いしますということで、評判のよさを感じました。

坂根委員 それは大変結構なことだと思います。ただ、できれば具体的なところまで聞いていただけると、次はさらによいものができるかと思いますので、よろしくをお願いします。

すみだ教育研究所長 わかりました。

浅松委員 資料P4で、小学校6年生の中学校授業体験について、教員が小学校に行ったのか、小学生を中学校に招いたのかどちらですか。それから教科はわかりますか。

すみだ教育研究所統括指導主事 小学生が中学校に行きました。学校生活についてのも実際に体験して、中学校の先生から授業を受けるというものでした。教科については、八広小学校6年1組、2組、3組の生徒が、それぞれ国語、社会、音楽を体験したということです。

坂根委員 幼保小中一貫教育について、ランドセル体験とはランドセルを背負う体験ですか。

すみだ教育研究所長 はい。保育園児が小学校に行って背負う体験をします。

坂根委員 ランドセルの重さについては最近メディアでいろいろ言われていますが、体重20kgぐらいの子どもが20kgのランドセルを背負うといった誤解のある発言もあります。学校便りを見ていますと、全教科の教科書を持ち帰るわけではありません。必要のない科目もありますし、全教科を1日にやるわけではありません。それを無視して全教科の教科書をかばんの中に入れることを実験したところもあるらしいですが、教科書を入れて背負うことをしているのでしょうか。

すみだ教育研究所統括指導主事 このランドセルの体験は、重さを実感するためというよりは、ランドセルを背負って小学校1年生への希望を持つためですので、全ての教科書を入れるわけではなく、負担にならない程度の重さで行いました。

坂根委員 ランドセルの重さも軽くなっており1kg以下のものもありますので、よい機会ですから誤解がないように保護者の方にも説明をしてくださるとよいのではないかと思います。

教育長 ランドセルについて学校での対応を指導室からお願いします。

指導室統括指導主事 文部科学省から児童・生徒に係る携行品について通知を受け、墨田区では9月6日付け事務連絡で児童・生徒の携行品に係る配慮について通知をしています。現在各学校で、学校に置いてもよいもの、そして例えば計算ドリルのような毎日持ち帰るもの、そういったものを決めて、保護者に周知をしています。

阿部委員 資料P4にある「5歳児が小学校の生活を体験」というところですが、これは1年生が授業を受けたり先生と何かしている様子を見せたということですか。それとも施設案内をしたということですか。

すみだ教育研究所長 学校体験の場合は保健室・体育館・図工室など、学校の中を案内するものです。

坂根委員 1年生の生活科で学校探険というものがあり、2年生が1年生を案内するものもありますがそれと同じような感じだと考えてよろしいですか。

すみだ教育研究所長 はい。

坂根委員 これは小学生が案内するというよりも、学校側が案内するということですか。

すみだ教育研究所長 児童がお兄さんお姉さん役になるということが主になっています。

教育長 幼稚園や保育園への学校の説明も児童がしています。学校の施設だけではなく内容についても1年目の先輩が説明して交流しているという形です。

坂根委員 そうすると、幼稚園や保育園を卒園した1学年上の子が、「あの何々ちゃんが」という感じでやっているところが多いと思います。ありがとうございます。

報告事項第2・・・資料P5～15

「平成30年度定期監査(第1回)の監査結果について」、庶務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質疑はありますか。

浅松委員 資料P15の理科室の毒物・劇物の件について、ここには書いてないですが、使用量と残量の帳簿も当然細かく監査していますか。

庶務課長 はい。

浅松委員 そこで何か課題はありましたか。

庶務課長 それが一致していなかったという指摘がありました。

浅松委員 記載漏れなどでしょうか。薬品、毒物・劇物の適正な保管ということで、特に大きな課題や指摘はなかったということですか。

庶務課長 はい。以前にも指摘されていますので、重く受け止め、さらに詳細なチェックリスト等も含め、管理を徹底するようにしています。

教育長 学校訪問した際の話も指導室からお願いします。

指導室統括指導主事 監査対象校については、事前に指導主事が理科準備室へ行き薬品簿のチェックを行っています。浅松委員がおっしゃった残量について、今まできちんとしたマニュアルがないままやってきた経緯があり、残量の測り方が目分量であったり、残量の表し方がまちまちだったので、瓶ごと重さを測り残量を管理するというようなマニュアルを全学校に周知しました。副校長会も含めて周知を徹底したいと思っています。

浅松委員 廃棄すべき薬品が残っていると、その品目がないものがあったなど、その辺も課題はありませんでしたか。

指導室統括指導主事 昔から残っていたものがそのまま薬品庫で管理されていたことについて数年前に指摘されたこともあります。今回チェックしたところではそういったものは見当たりませんでした。

坂根委員 マニュアルができることは結構なのですが、資料P13で「例えばマニュアル等を整備・見直しをしたとしても、それに沿った事務を遂行しない限り、全く意味を成さない」とありますので、マニュアルを作ると同時に、管理体制について踏み込まないといけないと思いますが、いかがでしょうか。

教育長 今までのマニュアルは、注意してくださいとか、適切な管理をお願いしますといった通知のようなもので、それに基づいて学校は管理していましたが、必要なものが書いていない例もありましたので、読んでわかるような形のものにしています。それから、毎回同じことが指摘されます。なぜかというと、監査前になってからやるためです。間違えてはいけないので鉛筆書きにしてそのままになってしまったということもあります。やはり日々やらなくてははいけませんので、今年度後半からはそういう方向にシフトしていきたいと思います。また、教育委員会としてマニュアルのほかに、指導主事が学校訪問の際に必ず理科室に寄って点検するようなフォローもしなくてはならないと思

ます。ただし、教育委員会に頼り過ぎないように学校には自立してもらう必要があります。教育委員会でもよくなった点として、今までは適正に管理してくださいという通知のようなものでしたが、具体的に何をすべきかを示すようになりました。今度はそのマニュアルを使うにあたって、坂根委員の言うように実効性を見ながらやっていきたいと思えます。特に行政側が注意しなくてはならない点として、分厚いマニュアルを作って学校へ送っても学校はなかなか見ないしわかりません。監査対策だけではなく適切に管理してもらうのが本来の趣旨なので、なるべく図で見える化するなどして、学校が自立的にできるような形に持っていきたいと思えます。もちろん過渡期ですので、教育委員会も訪問した際に点検することは必要だと思えます。もう少し推移を見守っていただきたいと思えます。

白石委員 理科室や薬品の管理室は普段必ず施錠されていると思えますが、先ほどの話にあった昔使っていた薬品について、処分はしないのでしょうか。昔あった薬品はそのままそこに管理されているのか、もしくはある一定の時期が来ると、区の方で処分しているのかお聞きしたいです。例えば各学校で、仕入れる薬品という変ですが、実験に使う薬品は大体同じものを入れると思えますが。

学務課長 薬品は産業廃棄物に該当いたしますので、学務課で適宜行っております。

教育長 小学校は理科専科がないから、薬品がどうしても残ってしまいますね。

指導室統括指導主事 はい。委員のおっしゃるとおり、年間で使う薬品は学習指導要領と教科書に載っている内容ですので、それに該当しない薬品が残っていた場合、理科専科がいれば適切に処理をします。しかしその理科専科がないと、使っていないものはそのまま保管しておけばよいという意識もあるのかと思えます。ですから、監査前にチェックをするだけでなく、サポート訪問などで必ず理科準備室と薬品庫の管理についても点検していますので、現在は小・中学校に必要なない薬品が管理されているということはないと思えます。

教育長 ほかにありますか。

阿部委員 一番最初の、次長決裁すべきところを課長決裁としたということは、行政の場合には有効なのですか。権限のない者が決裁してしまった場合、一応有効なのか、それとも取り消して再度正しく決裁するのか。そこがどういう手順となっているのか気になります。

次長 支出における額と性質によって誰が決裁するか、墨田区事案決定規定で全庁的に

決まっています。ですから決裁権者でない者がするのは問題なので、事後的な修正を加えているということです。事後的に修正を加えたことで、一応考え方としては遡及させて訂正したと処理をしている、そういう形でやらせていただいています。

阿部委員 ということは、やったことが無効になるという意味ではないですね。

教育長 行政行為としては無効ですが、追認することによって遡って有効にするということです。期待権などがあるため対外的には有効に扱いますが、内部はもし課長が決定して部長がもう一回追認をできないと取り消しではないですが無効の行為になってしまいます。だから、内部の手続きとしては訂正という形になりますが、外から見ると追認の形になると思います。今後、こういうことがないようにしたいと思います。

報告事項第3・・・資料P16～17

「表彰状の交付について」、庶務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質疑はありますか。表彰状については区長賞、議長賞、大会の会長賞、そのほかに教育長賞です。この報告は、墨田区教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則第3条に基づく教育長臨時代理による処理の報告ですから、委員会としての承認が必要となります。承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 それでは、報告のとおり承認することにします。

報告事項第4・・・資料P18

「平成31年度区立幼稚園入園の応募状況について」、学務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑はありますか。

坂根委員 幼稚園関係の方と話す機会があると、募集状況に関してやはり危惧している方が多く、就学前の教育の大切さは教育関係者には知られてますが、一般の方にはなかなか知られていないということもあるので、もう少し幼稚園の教育内容についてPRをしたらよいと思います。そして、保育園の3年保育も念頭にあるでしょうからその辺も考えながらよいPRをしていただければと思います。

阿部委員 これは子どもを預かる時間帯が影響しているのでしょうか。保育園の応募は

かなり高倍率でしょう。

学務課長 保育園の認可保育は11月20日から受付なのでまだ今年度はわかりませんが、この10年間の人数の推移、特に子育て支援制度が始まった27年度からは、保育園は確かに需要が伸びている状況です。

次長 保育園の需要は多いですが、3・4・5歳児で保育園待機児は発生しておりません。0・1・2歳が発生しているので、保育園とのニーズの関係は充足されていると思います。

坂根委員 先ほど申し上げた3年について、私立幼稚園は3年のところが多いです。3年の私立幼稚園に行くところを1年待って2年の公立幼稚園へ行く方もいると伺いました。公立の幼稚園がよいからということでしょうか。

次長 公立幼稚園は昭和40年代に発足した当時から私立幼稚園の補完的な位置づけでした。4・5歳児保育を続けてきたのはそういう理由があります。ただ、坂根委員がおっしゃったように幼児教育の重要性は改定された幼稚園教育要領にもありますので、公立幼稚園もきちんとした幼児教育をやっていきます。公立幼稚園の位置づけは私立幼稚園の補完という考え方が崩れていないところもありますので、そういったことで4・5歳児保育をやっていきます。

教育長 私立幼稚園の無償化の話もありますね。

次長 来年10月からの幼児教育無償化で3歳児以上は無償となりますので、その影響でどうなっていくのかは見ていく必要があると思います。

教育長 今年は東京都の私立高校が実質無償化しました。今までは都立高校の授業料を支給していましたが、東京都の私立高校の授業料の平均金額を支給するようになったので、東京都の分析はまだですが、変化が出てきて都立高校の人气が少し下がりました。無償化されるのは授業料だけで、修学旅行のようにほかにいろいろなお金はかかりますが、それでも授業料の差額を払わなくても済むようになったので、私立に行く人が増えてきたのではないかとこのころがあります。今次長が申し上げたように、私立幼稚園の関係や歴史的な成立の過程、それから保育園の関係といった様々なことが絡まりながら、こういう結果になってきています。

「平成31年度区立小・中学校希望選択の申込状況について」、学務課長が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの説明について、何かご質疑はありますか。

(質疑なし)

報告事項第6・・・資料P21～23

「第8回「墨田区図書館を使った調べる学習コンクール」の結果等について」、指導室統括指導主事が資料のとおり説明する。

教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質疑はありますか。

浅松委員 今回も含め何度か審査させていただきました。中身としては、本人の考え、自分がこの研究によって何をしたかったか、将来を見据えての部分といったところがかなり話題になり、よい作品が多くありました。そうした中で最終的に選ばれたものについては、審査員の校長や指導室とも話をし、割れることなく金賞はほとんど一緒に推したという感じです。今後これが全国へ行ってどうなるかということもありますが、墨田区は例年かなりよい審査結果のものもあり、そういった意味では調べる学習コンクールはだいぶ定着してきたと思います。ただ、夏休みの課題として出ている部分があり、消費者教育や美術関係のコンクールや税の作文のようにほかにもいろいろあるので、時間的なものも含めてじっくりと構えるという点で少し懸念されるところもあります。この調べる学習コンクールについては、特に小学校低学年では保護者の協力というか家庭の理解もあって、そしてひきふね図書館でいつも説明していただいていることもあり、かなり心強いバックがあるのだなと思います。

坂根委員 私は審査したことはありませんが、夏休み明けに学校の廊下に作品がありますし、実際に全国コンクールで賞を取った子どもたちの作品を見ると、きちんと出典を明記しているものが多くなっていると思います。児童・生徒のうちからきちんとそういうことができると、高等教育になっても生かせると思います。高等教育の学生でも、それをゼロからやる場合が多いので、こういう形できちんと出典を明らかにして、事実を見きわめるということだけでも大事な教育だと考えております。もちろんその後に全国的な賞が取ればそれは喜ばしいことですが、その1点だけでも、よい傾向ではないかと考えております。

指導室統括指導主事 説明会でも出典を明記するという話はしていますし、出典が明記

されているかは審査の観点にもあります。坂根委員のおっしゃるとおり、やはり根拠や出典を明らかにすることは、低学年のうちから重要だと感じています。

教育長 例えば情報が氾濫する中で正しい情報を得てそれを調べるときはやはり根拠をしっかりとしないとだめですし、それから坂根委員が言われたように、インターネットで勝手に引っ張った情報ではなく根拠のしっかりした情報を挙げておけば、ほかの人たちもまた調べられます。そういったことから、何のために出典が必要なのかを低学年のうちから知らせておいた方がよいと思いますので、ぜひよろしくをお願いします。

その他

坂根委員 錦糸小学校の100周年記念式典は大変すばらしかったと思います。児童が最後にいろいろと自分たちのことを話しましたが、6年生の児童は半分以上が外国につながりがあると聞いています。しかし聞いた一般の方に発音など言語的なことで外国につながりのある児童だと全然感じさせなかったようです。それは指導の教員も、学校側も非常に熱心に取り組んだ結果だと感じました。

教育長 それでは、会議冒頭での取り決めにより、議案第39号については、行政運営上の審議情報に関わる案件であることから、秘密会として執り行うこととしますので、傍聴人の方はご退出願います。

(傍聴人退室)

秘密会/教育委員会会議規則第26条第2項の規定により、別に会議録あり

教育長 では、これで教育委員会を閉会します。